

し、1日目にして早くもなじんだ感じだった。

こうやって始まったホームステイで、ケビンファミリーは、私をカーレースや野球の試合に連れて行ってくれたり、日本食レストランに連れて行ってくれたりするなど、歓迎してくれました。私は毎日が新鮮で、自分が大切にされていると感じていたが、興奮状態で熟睡できない日が続き、心は元気が体が疲れてきた。そうした中、3日目と4日目の午後、広々とした芝が広がる庭の木陰でのまどろみは、至福の時間であった。

帰国前日の夕方、マイアミ郡裁判所の見学の後にお別れ会が開かれた。私は高梁市からの記念品として「玉島福だるま」を市長さんにお贈りし、生徒たちは一人一人英語で感想を述べた。その時の生徒は頼もしく感じられた。生徒たちは5日間のホームステイで自信をつけたようだ。

帰りの飛行機の中で書いてもらった生徒の感想には「自分の気持ちを伝えることができた時や聞き取ることができた時の喜びは、今まで味わったことのないものでした」「人の温かさや家族の大切さを学びました」「とても多くの人に支えてもらっていることを実感しました」「相手への気配りをしていきたい」「感謝の気持ちを言葉に表すことの大切さを実感したので、これからは小さなことでもお礼を言える人になりたい」「自分は積極的になれた気がする」

トロイの人がしてくれたようにどんな人にも笑顔で優しく接していきたいです。

「自分から積極的に」

高梁北中学校3年 妻井 瑞季さん

私がこのホームステイで学んだことは積極性です。私はどちらかというと、あまり積極的なタイプではありませんでした。いつもまわりの人から「もっと積極的に」と言われていました。でも、ホストファミリーと過ごした3日間で、だんだん積極的になることができました。

初日は、自分から話すことがありませんでしたが、3日目には、自分から質問したり、話しかけたりできるようにになりました。

私のこのホームステイの目的は、自分から積極的に英語で話をするということです。それが、それ以上に多くのことを学び、素晴らしい経験をすることができました。それに何より、積極的な自分になることができたのでうれしかったです。

これから2学期が始まり、たくさ



ホストファミリーにピアノを披露

る。自分から話しかけることが多くなった」などと書かれており、生徒の成長を確認した。今後の活躍が楽しみである。

11日の夜、9時30分過ぎに市役所に帰着し、あいさつを終えて別れる前に生徒一人一人と握手をした時は、素敵な生徒やスタッフと一緒にトロイ派遣をやり遂げた満足感でいっぱいだった。

このような素晴らしい機会を与えてくださった高梁市国際交流協議会や、お世話になった関係の皆様から感謝申し上げます。

「言葉と国際交流」

高梁中学校3年 関 靖宏くん

中学校最後の夏休み、僕はトロイ市派遣団の団員としてアメリカへ行きました。僕は自分のコミュニケーション



プールパーティーでの交流

んの行事があります。私は生徒会の執行部に所属しているので、この経験を生かして積極的に発言していきたいです。将来にも役立てていきたいです。

「自分を成長させた」

川上中学校3年 大塚 里咲さん



ホストファミリーと一緒に

私はトロイへ行く前から本当にホームステイを楽しみにしていました。それと同時に絶対に自分を成長させたいという気持ちで参加しました。

ホストファミリーと過ごした日々は、私の掛け替えのない思い出となりました。顔や言葉が違っていても思っていることは一緒だったし、ホストファミリーのお父さんとお母さんは、自分の両親と似ているなど感じました。

買い物に行った時、周りののびこを見てアメリカ人ばかり。当りまえのことだけど、すごく新鮮でわくわくしました。

ジョン能力や英語力に自信がなく、中学生のうちに少しでも自信をつけておきたかった。それが申し込んだきっかけでした。

トロイ市へ着いた後、すぐに僕たちのための歓迎パーティーが用意されていました。そこで僕は、ホストファミリーの人たちと一緒に食事を取りました。僕は、体が自分の物では無いくらいにカチカチに緊張していた、そこに流ちょうな英語で質問をされたとき、何にもできませんでした。何度もゆっくり言い直してもらってやっと理解でき、その質問に答えられた時、僕と相手両方の顔に安心が感じられたのを今でも覚えています。その後スケートやバスケットをして言葉なしでうち解けられたことで、その後の日々を存分に楽しむことができた理由だと思います。

日本に帰ってくる途中の飛行機の中や、帰ってから家の中でいろいろ考えました。言葉は自分の思いを伝える一つの手段でしかないということ。僕は言葉で一生涯自分自身を伝えるよりも、一緒に運動したり、ゲームをしたりして、同じ時間を共有する中で相手のことが分かったり、自分を伝えたりすることが大事なんだと思いました。

今回の国際交流では、このこと以外にもたくさん学ばせていただきました。僕は学んだたくさんを、これからの生活に生かしていきたいと思っています。

一番難しかったことは、やっぱり自分の言いたいことを伝えることです。単語を並べて、身振り手振りでやっても伝わらないことがありました。それがすごく悔しかったから、これからもっと英語を勉強しようという気持ちになりました。

ホームステイを終えて今、感じることは、本当に行って良かったということです。上手くいかないこともあって不安もたくさんあったけど、日本では絶対にできない経験をさせてもらいました。

目標にしていた自分を成長させること。これは達成できたと思います。国境を越えて友だちを作ることでもできましたし、異国の文化に触れ、たくさん学ぶことができました。貴重な経験をさせてもらったことに感謝し、これからの必ずつなげていきたいです。

「3つの目標を持つ」

備中学校3年 前原 悠花さん

私は今回、トロイ市に行くにあたって、3つの目標を決めていました。

一つは自分の英語力を増やすこと。二つ目はアメリカの生活スタイルを知ること。そして、三つ目は文化を学び教えることです。私は三つともすべて学んで帰ることができたと思っています。

まず一つ目の目標です。私は今ま

「目標は笑顔で話したい」

高梁中学校2年 大場 日菜乃さん



送別会にて

私はトロイに行くという決まっています。毎日向こうでは今何を考えているのかを考えながら過ごしてきました。出発が近づくと、楽しい気持ちと緊張が大きくなくなって行きました。

トロイの町は、とてもかわいかったです。まるで人形の家のような感じでした。初めてホストファミリーと会ったときは、向こうから話しかけてくれ、私はすぐになじむことができました。不安は一切ありませんでした。

初めての体験を私はたくさんしました。特に印象に残っているのは、湖に行ったことです。大きな浮き輪に乗ってボートで引張られました。最初は浮き輪から落ちそうでした。最初は浮き輪から落ちそうでした。最初は浮き輪から落ちそうでした。

トロイでの1週間はとても短かったです。自分の目標だった笑顔で話すことは、相手が笑顔だったので自然とできました。たくさんの方が私に優しくしてくれました。感謝をしたいです。大切な絆をトロイで作ることができました。これから私は、

で自分は喋ることはできるけど、聞き取りができないと思っていました。しかし、実際はその反対でした。この発見は自分にとって本当のためになるものだと思います。

そして二つ目。これは驚きの連続で、私のホストファミリーは、晩ご飯をあまり食べません。アメリカ人はもっとガッツリ食べると思っていました。

最後の三つ目。私はトロイについて本当にたくさん学んだことをホストファミリーに聞きました。これはホームステイをしないと分からないことだと思いました。何よりガイドなど日本語で聞くのではなく、現地の英語で聞いたからです。

この三つ目は、今後自分が成長していくうえで、とても大事な糧になっていくと思っています。なので今回の事は忘れず、そして自分の中だけにどめず伝えていきたいと思っています。



クッキーを一緒に作りながら